
巻き込まれる！

カー口

タテ書き小説ネット Byヒナプロジェクト

<http://pdfnovels.net/>

注意事項

このPDFファイルは「小説家になろう」で掲載中の小説を「タテ書き小説ネット」のシステムが自動的にPDF化させたものです。この小説の著作権は小説の作者にあります。そのため、作者または「小説家になろう」および「タテ書き小説ネット」を運営するヒナプロジェクトに無断でこのPDFファイル及び小説を、引用の範囲を超える形で転載、改変、再配布、販売することを一切禁止致します。小説の紹介や個人用途での印刷および保存はご自由にどうぞ。

【小説タイトル】

巻き込まれる！

【Nコード】

N8245T

【作者名】

カーロ

【あらすじ】

やたらとトラブルに巻き込まれやすい少年と、幼なじみの女の子の恋愛ものらしきお話

？巻き込まれる！

「今日こそはトラブルに巻き込まれませんように！」

そうお参りをしに行くのが僕、加賀崎隆の日課である。なぜこんな事を神社までお願いしに来ているのか？それにはワケがある。なぜかというと、僕は”よく”トラブルに巻き込まれることが多い。いや、多いつてもものではない。それこそ誰かに丑の刻参りをされているのではないかというくらいトラブルに巻き込まれる。この間は街で14回もチンピラに絡まれた。つい昨日は電車の中で5回も痴漢と間違われた。あのときは最悪だった。立て続けに間違われたものだから絶対1回はしていると言われたから余計に話がややこしくなつたんだっけ。

「次からは自転車で学校行こう……」

と思って自転車で学校に来たのはいいけど学校と家のちょうど間の所でタイヤがバーストして仕方なく前輪ホイールのみ自転車を通して途中の中学生に「タイヤ死んでるし！」と言われるのを尻目に学校に到着したのがつい2時間前。今は授業の最中である。しかも苦手な体育である、いや、苦手なのは運動より体育教師のほうだが。

「コラア！性根入れて走らんかア！」

いつもの怒鳴り声がグラウンドに鳴り響く。ここでも僕はやってしまった。走っている最中につまづいたのである。ただこけるなら良かった。しかし、このときはオマケがついてしまったのである。それ

はというと……

こけた拍子に僕の靴が鬼教師の顔面にクリーンヒットしたのである。周りのお前やつちまったなという空気。そして、

「加あゝ賀あゝさあゝきゝ！お前何さらしとんじゃあゝ！」

鬼教師の怒号。その後に来るアッパーカット。さすがはボクシングインターハイ元学生チャンピオン。１メートルほど飛んだ。いやマジで。その後に平手打ち５０回・グランド２０周・反省文１０枚を書かされてやつと解放されたのがお昼休み。ヤベエ。このままだったらマジ死ぬ俺OTZ

「災難だったねゝ、タカちゃん！」

ものすごく軽く言うてくるのは幼なじみの古橋みのり。こいつとは俺が産まれてからの仲である。家が隣ということもあり、向こうの両親とも家族ぐるみでのお付き合いである。

「見てたのかよ……」

「当然です！女子の体育はサッカーだったからよく見えたよ！」

「いや見なくていいから！むしろ授業に集中してください！」

「嫌だなあ、タカちゃん！お隣同士のお付き合いじゃないですか」

「何だその今までずっと見てましたよ的な物言いは？」

「見てたよ。タカちゃんのことずっと。」

「え？」

「だ〜から〜！タカちゃんがトラブルに巻き込まれてる時とかもまとめて全部見てたってこと！」

「と、申しますと？」

「え〜い、まだわからんかこの朴念仁！」

そういうとみのりは俺を抱きしめてきた。

「あたしがタカちゃんのこと守ってあげるって言ってるの！」

その時俺は思った。みのりは俺のことが好きなのだ。

「ダメ、かな？タカちゃんはあたしのこと嫌い？」

こうなれば言うことは決まっている。

「バカ。嫌いなわけねえだろ。」

そう言っただけはみのりを強く抱きしめた。そしてこう言った。

「「お前が俺を守る」じゃないだろ？正しくは「俺がお前を守る」だ。たしかにトラブルには巻き込まれるけど俺がお前を守れなきゃ男としての威厳がだな……」

ああ、こんな時に何言っただ俺。と俺が後悔していると……

「そうね。じゃあお願いね！」

「え？」

「あたしのこと守ってくれるんでしょ？」

「お、おう！もちろんだ！」

「それが聞けて安心した！」

みのりがそういつと同時になるチャイムの音。授業の始まりだ。

「やべもつこんな時間か！急いで戻らないと……………」

「良いじゃん！今日は午後からの授業サボろ？」

「お前、成績大丈夫か？」

「失礼な！タカちゃんよりはいい成績取つてると自負してますよ？」

「おまえ、キツイこと言うな……………」

「えっへん！」

と、胸を張るみのり。なぜそこで胸を張るのかは分からないが。まあ今日は授業をサボろう。今はみのりと一緒に居たい。

僕は、トラブルだらけの毎日が嫌いだった。しかし、今は違う。大切な人が出来たからである。

僕はそれを再確認するかのよう、みのりを強く抱きしめた。

E
n
d

PDF小説ネット発足にあたって

PDF小説ネット（現、タテ書き小説ネット）は2007年、ルビ対応の縦書き小説をインターネット上で配布するという目的の基、小説家になろうの子サイトとして誕生しました。ケータイ小説が流行し、最近では横書きの書籍も誕生しており、既存書籍の電子出版など一部を除きインターネット関連「横書き」という考えが定着しようとしています。そんな中、誰もが簡単にPDF形式の小説を作成、公開できるようにしたのがこのPDF小説ネットです。インターネット発の縦書き小説を思う存分、堪能^{たんのう}してください。

この小説の詳細については以下のURLをご覧ください。
<http://ncode.syosetu.com/n8245t/>

巻き込まれる！

2011年6月5日20時48分発行